

# ASUMIN NOTE

[あすみんノート]  
2018 Summer

No.

# 12

Wanted!! Newcomer

## Special Issue

## 新しい活力を探そう

### Voice

大浦多一郎 (Little Hands)

### GOOD ACTIVITY FILES

特定非営利活動法人ドットジェイピー  
生涯福岡人！  
フレンズ国際ワークキャンプ九州委員会  
福岡子ども支援学生連盟

### @DATA

学生の数、全国2位

### Asumin Information

#### Asumin Recommend

ボランティア講座

#### Hondana!

20代に伝えたい50のこと

#### Organization Introduction

登録団体紹介：登録番号587～601

Wanted!! Newcomer

# 新しい 活力を 探そう

今回のissue(論点)は、社会課題に取り組み人材。NPO・ボランティア活動にとつて、長年の悩みを解消してくれる「待望の存在」です。

みなさんが取り組む活動においても、次の担い手が見つからないと団体の継続が困難になり、社会課題も取り残されたまま。という現実が待ち構えているのではないでしょうか。

今回は特に、ソーシャルセクターにアイデアや刺激を持ち込んでくれる「新しい活力」について、その象徴である若者たちの活躍を通して考えてみます。

## 人口の減少、担い手の不足。

現在の日本の人口は、1億2649万人(平成30年5月概算)。人口減少・少子高齢化は進み、2025年には、65歳以上の方ひとりを20歳～64歳の1.8人が支える状況になると推計されています。必然的にボランティアや団体活動に取り組む担い手も不足することになり、その一方で社会課題の多様化・深刻化も進むことが懸念されます。

## 活躍が待ち望まれる若者たち

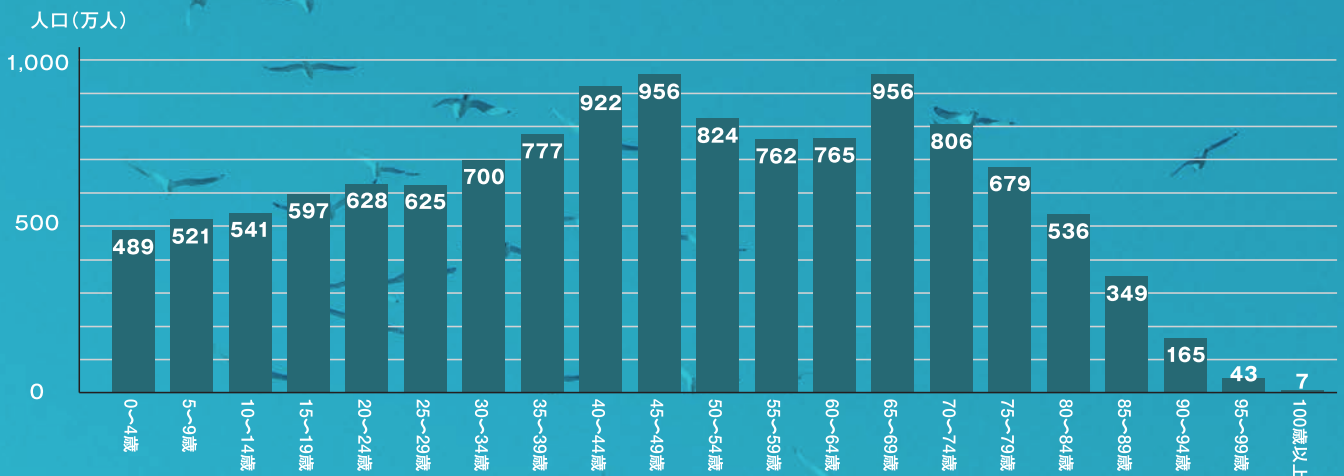
ソーシャルセクターに対する役割の拡大が望まれる中、今後の担い手として期待されるのが若者たちの存在です。今年は、NPO法が成立して20年目を迎える記念すべき年ですが、近年では高校生・大学生を取り巻く環境も大きく変化し、NPO法人への就職やインターン、ボランティア活動への参加なども活発になり、市民活動への興味・関心も高まっています。中には、自分たちで団体を組織し、社会課題と向き合っている若者も増えてきています。

## 「新しい活力」に目を向けよう

これから新たな活動をはじめようとするとき、未知なる力が生まれます。これから始めるからこそ、柔軟な発想やフレッシュさがそこにはあるものです。これまで突破できなかった課題や停滞している困難を打ち破るためには、このような「新しい活力」に目をむけることも必要となるのではないのでしょうか。

若い人たちのアイデアに耳を傾けてみることはもちろん、自分たちの団体活動の原点にある“熱い思い”や“ミッション”を振り返ってみることに、自身の中に“新しさ”を見出す一つのヒントが隠されているかもしれません。

## ■日本の年齢階級別人口 (参考:「人口推計(平成30年5月概算)」総務省統計局)



# VOICE

ボイス

Little Hands

大浦多一郎さん Taichiro Oura

今回のVoiceでは子どもたちとの交流を通して、子どもが楽しみながら

1つ目は、留守家庭子ども会に出向き一緒に遊ぶこと。留守家庭子ども会とは、親が仕事で忙しいときに代わりに預かる、いわゆる学童保育ですね。小学校の敷地内に設置されていて、僕たちはそこにかがいます。専任の先生がいっしゃるので、お手伝いするのは子どもたちの相手です。



ントがごっそりで、年間で20数件が決まっています。授業サポートも常にといった感じです。実はこれまで、活動についてほとんど広報をしたことがありませんが、担当の先生が転動したら、転動先の小学

校でもという形で、口コミだけで広がってきました。メンバーは、主に九州大学と筑紫女学園大学の学生で、創立当時は

2つ目は、身近にあるダンボールやペットボトルを使った工作イベント。季節にあった工作(風鈴やうちわなど)をするので、内容は話し合っ決めてます。

3つ目は、実際に小学校の算数の授業におじゃまして、丸つけや指導の補助をする「授業サポート」と呼んでいる活動。これは、箱崎小学校のみでの活動です。一見、アルバイトのようですが、すべてボランティアで行います。

数人だったメンバーも、現在は100人程度と着実に増えています。アルバイトなどでみんなが参加できるわけではない(参加率は約30~40%)ので、これだけのメンバーがいても、依頼のすべてに応えきれない状況です。ですから、新入生にアピールする機会も少なく、メンバーを増やすには苦労しています。13年間コツコツやってきたので、今後も大きな変化はないかもしれませんが、できれば2大学以外の方にも参加してもらって、じっくりと広がっていきたくです。

## 活動は忙しいですか？

学生サークルとしては、忙しいほうだと思います(笑)。留守家庭子ども会の活動では、5つの小学校(各週1~月1)に行っています。長期休み(夏がほとんど)には、イベ

## 大浦さんが、入った理由は？

そんな大げさな話ではないんですが、そもそも大学にも先輩って

## 活動の「きっかけ」は？

2005年創立なので13年ほど前になりますが、のちに創始者となる方が、プールで監視員のアルバイトをしていたそうです。プールに来ていた子どもたちと遊ぶ(世話をする)機会があって、子どもたちが「お兄ちゃん、お兄ちゃん」と楽しんでくれました。その方は、僕と同じ教育学部の先輩ですが、当時も今と同じように大学生が子どもたちと触れ合う機会は少なく、その時間は大学生にも代え難い体験となったそうです。

「継続的にそういう関わりを持ってないか」と、友達を集めて「留守家庭子ども会」を訪問するようになったのがLittle Handsが生まれたきっかけです。

## ネーミングの由来は？

Little Hands(リトルハンズ)という名前の由来は3つあります。1つ目が、創始者が子どもと手を繋いだときにちっちゃかったから「小さな手」ということ。2つ目は、「大学生にできることは小さい」微力だけど、コツコツやろうということ。3つ目は、自分たちの活動が自分たちにも子どもたちにも、将来の「小さなきっかけ」になればいいなということ。

## 活動について教えてください

活動に関してもその名の通り。大きなイベントではなく、小さなイベントを積み重ねています。こちらも大きく分けて3つあります。

# GOOD ACTIVITY FILES

## グッド・アクティビティ

17

学びあい助け合いながら  
手をつないで生きていきたい

## 特定非営利活動法人 ドットジェイピー

若年投票率の向上を目標に「若者と政治を結ぶ」活動として、高校への模擬選挙体験の出前講座や大学キャンパスでのディスカッションを交えた衆議院選勉強会などの「体験型プログラム」を行ってきました。また、これからの日本を担うリーダーの創出を目指し、政治家を目指す学生や、様々な進路希望を持つ学生に議員やNPOへの「インターンシップ体験」なども実施し、社会に出る若者を後押ししています。



18

情報発信をとおして、  
学生とまちをつなぐ

## 生涯福岡人！

福岡の学生に地元・福岡を好きになって、まちを盛り上げる原動力になってもらうことを目指し、福岡の魅力を発信するフリーペーパーを制作しています。「福岡」「学生」「教養」をテーマにコンテンツを企画。広告営業から、取材・編集、デザイン、配布まで、すべてを学生だけで行っています。年2回の制作で毎号7,500部を発行しており、大学内にとどまらず、手渡しや近隣店舗など、さまざまな場所で配布しています。



から成長していくきっかけ作りに取り組む学生団体「Little Hands」の大浦多一郎さんにお話をうかがいました。

必要だよなと思っていて、どこかのサークルに入ろうと決めていました。僕が専攻する教育学部には、3つのサークルがあって、活動の説明が一番わかりやすかったのがLittle Handsだったんです。母も先生をしていて、子どもの話も聞いて興味もあったし、母との共通の話題にもなるし。子どもが好きだったのも理由の一つですね。

だけど、こんなに忙しいとは想像していませんでした(笑)。入ってすぐにイベントの企画を任せられることになったんです。先輩から「してみ」というような軽い感じで。当時の僕には、本当に大変な役割でしたけど、その達成感は普通の生活では味わえないものでした。今では、クセになるというか…、忙しいけどやりがいがある。子どもたちに喜んでもらうために、自分の身も睡眠時間も削ってという感じです。



### 熱い思いがあったから、代表に選ばれたのですか？

それが、そうでもないんです(笑)。ただでも忙しいから、幹部になりたいかと思っている人が大半で、実は僕もそうでした。Little Handsの幹部は1年交代で、同じ学年が集まって誰がどんな役割をするかを話し合います。僕たちの代では、なりたいたい役職と各役職に誰を推薦するかを2項目を紙に書いて決めました。役職が7つあるんですが、代表は僕の指名が一番多くて、僕は何かの役職になりたいと思っていませんでした。だけど、代表以外の6

人は全員立候補してくれました。高校の部活でもキャプテンとかしたことがなくて、初めてのことで、こんな6人と一緒にやれるかなということ。わりと不真面目な感じなので「豪腕」では

なく「調整役」のリーダーというスタンスでやっています。

### 子どもたちとの「関係性」について教えてください。

それこそ昔は「学童に行っている子=かわいそう」と思われていたかもしれませんが、今は共働きが当たり前になっていて、子どもたちも悲観せず楽しくやっているといます。留守家庭にも充実した生活があるし、さらに僕たちが関わることでより良い時間を過ごしていると思います。学校には、子どもたちと向き合う大人として、先生たちもいらっしゃいますが、大学生のお兄さんお姉さんの存在って、それとは異なるものだと思います。僕たちは「斜め上の関係」と呼んでいますが、子どもには友達(横)でもなく先生(上下)でもない斜め上の関係が必要です。何をするとかは決まらなくて、子どもたちの遊びに混ぜてもらったり、流行っている遊びをしたりします。先輩たちが残した活動記録から「こんなことをす

ると喜ぶよ」ということも伝わってくるので、ゆるやかに次世代へと繋いでいるイメージです。

### “これから”が楽しみです。

若造の僕が言うのもなんですが、ボランティア活動で大事なものは、楽しむことだと思います。「楽しい」の中には、「喜び」や「学び」「成長」もあると思うんです。残念ながら、メンバーには、登録して一回しか参加しない人もいます。本当は同じ子と何回も会って、子どもたちとの繋がりができたり、自分たちも成長できたりするので、どんどん活動に参加してもらえたいと思います。



## Little Hands

子ども会行事など地域活動への参加や小学校での授業補助、学童保育での活動を通じて、子どもが楽しみながら成長していくきっかけと学生が学びを深めるきっかけをつくる。

<http://littlehands0105.web.fc2.com>

## イ・ファイル

このコーナーでは「社会にイイ活動=Good Activity」を行っている団体をご紹介します。ボランティアに参加したいときや、自分たちの団体とつながる仲間を探すときなど、ぜひ参考にしてください。

### 19 | 現地の村人と私たちとで、社会問題の解決に取り組む

## フレンズ国際ワークキャンプ九州委員会

国内外で国際協力、国際交流などの活動をする学生NGO団体です。全国組織であるFIWC(フレンズ国際ワークキャンプ)の九州委員会として、春や夏などの長期休暇を利用し、現地の村人とともに問題解決のプロジェクトを遂行する「ワークキャンプ」という手法で活動しています。現在は、フィリピン・中国・ネパール・日本の4カ国で主に活動しており、貧困やハンセン病差別などの社会問題の解決に向けて取り組んでいます。

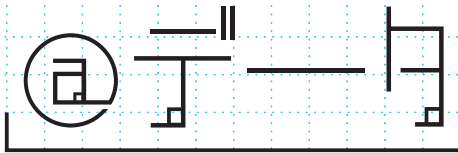


### 20 | 支援からこぼれ落ちる子どもをゼロに

## 福岡子ども支援学生連盟

「共に育ち、共に育てる」を理念に掲げ、福岡で子どもに関わる活動をする大学生が集い、「支援からこぼれ落ちる子どもをゼロにすること」を目的に設立されました。福岡にある民間支援団体等と大学生をつなげられるように、ネットワーク作りを進めたり、質の高い専門家の育成のため、研修会や勉強会「子ども未来ワーク」を開催したりして、子どもとの関わり方や支援への意見を交わす機会をつくっています。





「@データ」は、市民公益活動に関わるさまざまな「データ」をもとに、詳しい方の意見を聞いたり、考えるきっかけをつくるコーナーです。

Tag:

## #学生の数、全国2位

教えてくれた方

福岡市経済観光文化局  
創業・大学連携課

大羽雅人 さん

Masato Oba

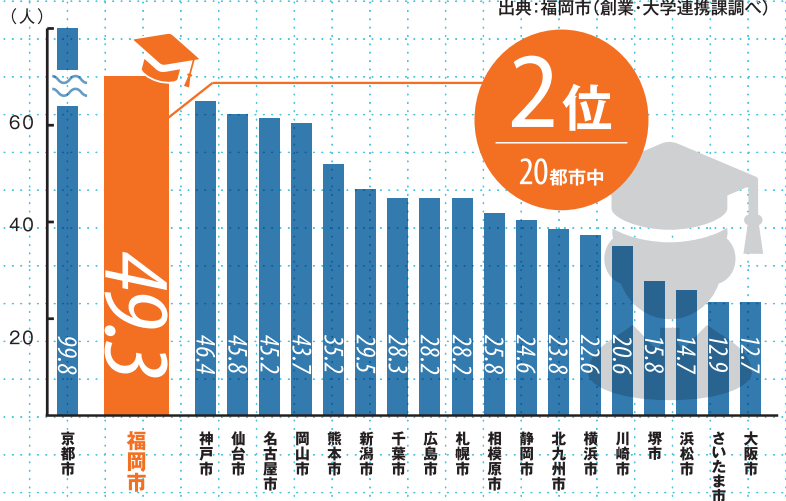


若者が多いまち  
福岡!

### ★Data1

未来を担う若い人材があふれています！  
人口1,000人あたりの学生数

出典：福岡市（創業・大学連携課調べ）



## 若い力がたくさん！ 福岡市は学生の宝庫

福岡市は、人口が増加し続けている数少ない都市で、過去10年間で約13万人が増加し、現在は157万人を突破しています。中でも10歳～29歳の若者の割合は22.05%（平成27年度国勢調査より）と全国で最も高いまちです。

その要因の一つが、学生の存在。大学の数は21校ですが、人口1000人当たりの学生数は政令指定都市で京都につぐ第2位（平成29年5月時点、Data1）。福岡は、未来を担う若い人材であふれている元気なまちだと言えます。

## 地域と大学が取り組む 「域学連携」

全国的な動きに目を向けると、地域活動やボランティア活動の分野においても、大学生への期待や関心が高まりつつあるようです。

近年では、学生が地域に入り、地元の住民やNPO等とともに、社会課題の解決や地域づくりに継続的に取り組む「域学連携」といわれる活動が増加しています。大学と地域が連携すると、大学が持つ専門的なノウハウが活かされることや、若い力が地域に入り学生と住民双方が成長できることなどの、地域活性化が期待できます。（Data2）

自治体やNPOとの連携を模索する大学も多く、今後は、様々なセクターが共存した事業展開が増えるだろうと期待されています。

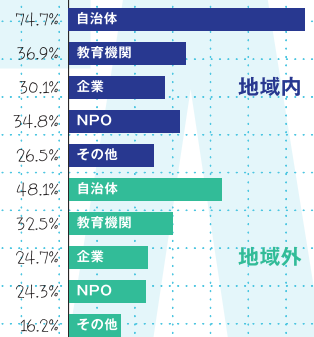
## 学生たちの活動を 地域のチカラに

福岡市では、「大学のまち」「学生のまち」と言われることを目指して、大学と行政、企業が連携し大学及び都市の魅力づくりを行うことを目的とした「大学ネットワークふくおか」を平成21年に設立しました。「大学ネットワークふくおか」では、全国の高校生に向けて、福岡のまちや大学の魅力を発信する情報発信事業のほか、学生活動を応援する支援事業にも取り組んでいます。その一つが「学生地域活動大賞」です。この賞では、環境や福祉・まちづくりなど、地域社会に関わる研究や活動を実践的に行っている大学生のグループを年に1回表彰しており、今年で8年目（計68団体がエントリー）になります。学生たちを地域に広くアピールし、その研究や活動を地域社会に取り込んでいくことで、学生たちの活動はもちろん、地域全体の活性化に貢献しています。



### ★Data2

## 大学における地域連携の 連携先の割合



出典：平成27年度 開かれた大学づくりに関する調査研究（文部科学省）



「大学ネットワークふくおか」が運営する、福岡のまちと大学の魅力を全国の高校生に向けて発信するウェブサイト。大学の情報のほかにも、学生の声や、おすすめスポットなどを紹介しています。



だいふく  
公式ホームページ  
www.daifuk.net

## あすみんのオススメ

Asumin Recommend

### ボランティア講座

「ボランティア」ってなんだか説明できますか?この夏あすみんでは、ボランティアの基礎的知識が学べる講座をスタートします。「ボランティア」の言葉の意味や語源、NPOとの違いや福岡で行われている取り組みなどなど、基礎的な知識を得ることで、実際の活動への想いや考えが深まることも期待できます。これからボランティアをはじめたい方はもちろん、すでに活動中でもう一度じっくり学びたいという方にもおすすめです。お気軽にご参加ください。

日程: **8月7日(火)**  
14:30~15:30

※隔月開催。内容は変更する場合もございます。予めご了承ください。

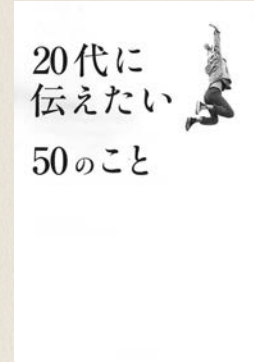


## ホンダナ!

Hondana!

あすみんの図書コーナーに所蔵している書籍をご紹介します!

### 20代に伝えたい50のこと



ISBN:978-4-478-10481-1  
定価:1,404円(1,300円+税)  
判型:46並製  
ページ数:256

経済産業省が選出した「地域産業を創り出す33人の演出家たち」の一人、秋元祥治氏による、20代へのメッセージ。「ほんのちょっと想像する力が、圧倒的な差になる」など、自身の経験を基にした生き抜くためのヒントを50のテーマで紹介。これから社会に出る若者たちはもちろん、何かを創り生みだしたい。と思う皆さんにも、ぜひ読んで欲しい一冊です。

【著者】秋元祥治  
【発行】株式会社ダイヤモンド社  
【発行年】2018年

## 登録団体紹介

Organization Introduction

あすみに登録された団体を紹介します。(登録番号587~601)

- 703の部屋
- 九州NICE
- きょうざれん福岡支部 福岡市ブロック
- NPO法人Succa Senca
- NPO良いコト広め隊
- NPO法人廃棄物管理アドバイザーネットワーク福岡
- 共感的コミュニケーションのつどい
- 人材育成会
- 特定非営利活動法人女性エンパワーメントセンター福岡
- NPO法人がんのママをささえ隊ネットワーク ETERNAL BRIDGE
- NPO法人 Rainbow Soup
- 海外在住ナバール人協会(NRNA-九州)

- 大名 第三公会 町内会
- NPOアバンサール倶楽部
- キャリアをめざす会

重要

登録番号 0001 ~ 0593 の方  
団体登録更新のお願い

登録番号が【0001~0593】の団体は、現在更新期間中です。引き続き、あすみんをご利用になるには、期間中に手続きが必要となります。

●更新期間  
6月1日~8月31日

更新に必要な書類は窓口へお問い合わせください

### 利用団体登録について

Check!

あすみんでは、施設やサービスを利用される団体に関して、利用団体登録をお願いしています。福岡市内で活動し、市民公益活動に取り組む団体(主にNPOやボランティア団体)が対象となります。登録に必要な書類は、下記の(1)~(6)になります。ご記入のうえ、窓口までお持ちください。また、(7)、(8)は登録の際にご持参ください。登録申請時には、書類の確認・面談を行います。

#### 登録に必要な書類

- (1)福岡市NPO・ボランティア交流センター施設利用許可申請書(団体)
- (2)団体の運営に関する規則(定款、規約、会則等)
- (3)活動計画書
- (4)これまでの活動実績がわかる資料
- (5)役員名簿
- (6)自己チェックシート
- (7)印鑑
- (8)申請者本人確認書類(運転免許証、健康保険証など)

## 福岡市NPO・ボランティア交流センター あすみん

【住所】〒810-0021 福岡市中央区今泉 1-19-22 天神クラス4F

【TEL】092-724-4801 【FAX】092-724-4901

【MAIL】info@fnvc.jp 【HP】http://www.fnvc.jp

【開館時間】月~土曜 10:00~22:00 日・祝日 10:00~18:00

【休館日】第4水曜日、年末年始 12月29日~翌1月3日

【facebook】https://www.facebook.com/asunoshimin/



お越しの際は公共交通機関をご利用ください

- 地下鉄をご利用の場合 ●七隈線「天神南」駅 1番出口から徒歩6分
- バスをご利用の場合 ●西鉄バス「今泉1丁目」徒歩1分
- 電車をご利用の場合 ●西鉄福岡(天神)駅 南口から徒歩5分



HP



facebook

